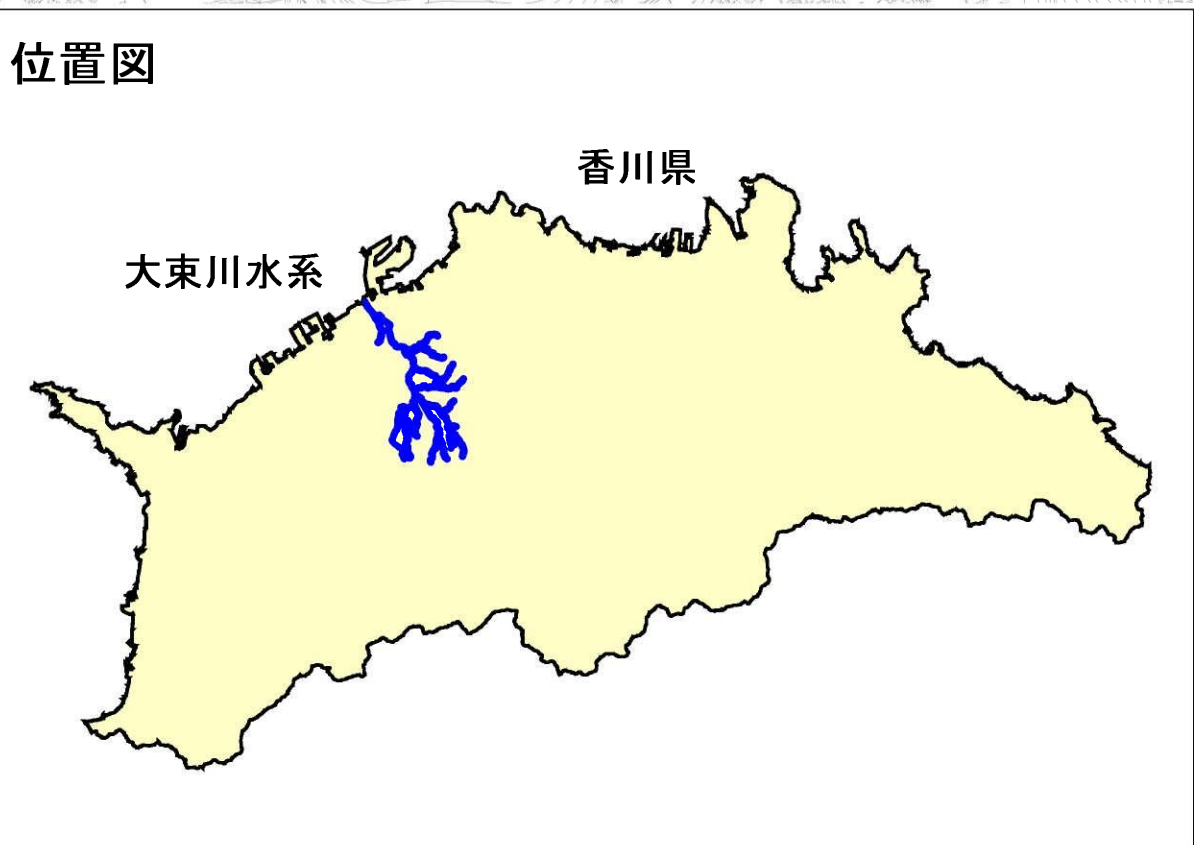
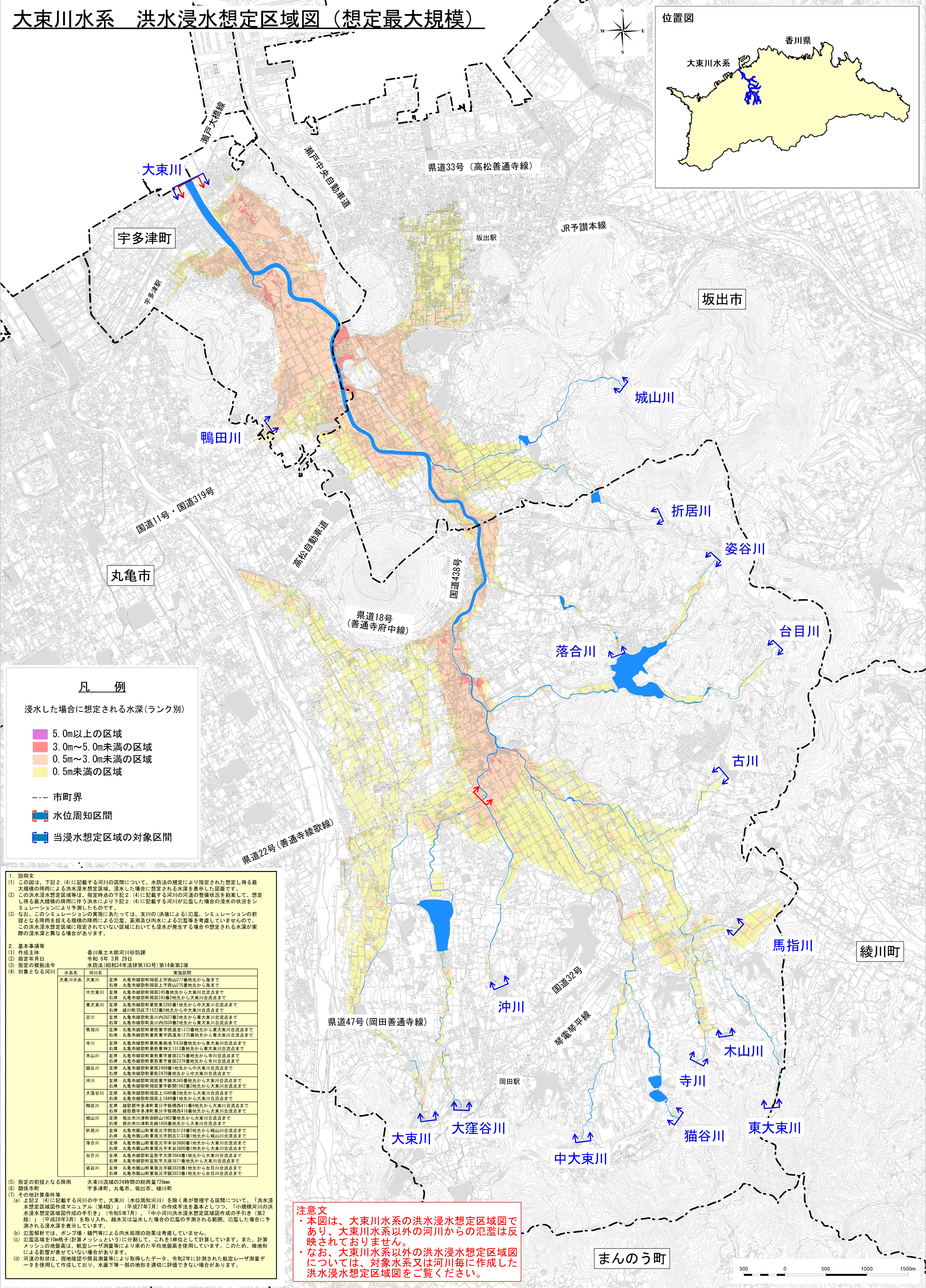


大東川水系 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



凡 例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

5.0m以上の区域

3.0m～5.0m未満の区域

0.5m～3.0m未満の区域

0.5m未満の区域

市町界

水位周知区間

当浸水想定区域の対象区間

1 説明文

(1) この図は、下記2.(4)に記載する河川の区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域等は、指定時点の下記2.(4)に記載する河川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により下記2.(4)に記載する河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体 香川県土木部河川砂防課

(2) 指定年月日 令和6年3月29日

(3) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項

(4) 対象となる河川

水系名	河川名	実施区間
大東川水系	大東川	左岸：丸亀市綾歌町岡田上宇山277番地先から海まで 右岸：丸亀市綾歌町岡田上宇山275番地先から海まで
	中大東川	左岸：丸亀市綾歌町岡田245番地先から大東川合流点まで 右岸：丸亀市綾歌町岡田245番地先から大東川合流点まで
東大東川	左岸：丸亀市綾歌町東熊東宇山205番1地先から中大東川合流点まで 右岸：綾川町羽茂下1522番5地先から中大東川合流点まで	
	古川	左岸：丸亀市綾歌町奥川内2827番2地先から東大東川合流点まで 右岸：丸亀市綾歌町奥川内2838番2地先から東大東川合流点まで
馬指川	左岸：丸亀市綾歌町東熊東宇山1373番地先から東大東川合流点まで 右岸：丸亀市綾歌町東熊東宇山1270番地先から東大東川合流点まで	
	寺川	左岸：丸亀市綾歌町東熊東宇山南地下638番地先から東大東川合流点まで 右岸：丸亀市綾歌町東熊東宇山1319番地先から東大東川合流点まで
木山川	左岸：丸亀市綾歌町東熊東宇山2275番地先から寺川合流点まで 右岸：丸亀市綾歌町東熊東宇山2376番地先から寺川合流点まで	
	猫谷川	左岸：丸亀市綾歌町東熊東宇山2499番1地先から中大東川合流点まで 右岸：丸亀市綾歌町東熊東宇山2470番地先から中大東川合流点まで
沖川	左岸：丸亀市綾歌町岡田東宇山365番地先から大東川合流点まで 右岸：丸亀市綾歌町岡田東宇山1597番地先から大東川合流点まで	
	大窪谷川	左岸：丸亀市綾歌町岡田上1049番3地先から大東川合流点まで 右岸：丸亀市綾歌町岡田上1849番1地先から大東川合流点まで
鴨田川	左岸：綾歌郡平多津町東分字板橋西411番6地先から大東川合流点まで 右岸：綾歌郡平多津町東分字板橋西416番地先から大東川合流点まで	
	城山川	左岸：坂出市川津町御前山1962番地先から大東川合流点まで 右岸：坂出市川津町北崎1055番地先から大東川合流点まで
折居川	左岸：丸亀市坂山町東坂元宇山2124番5地先から城山川合流点まで 右岸：丸亀市坂山町東坂元宇山3133番1地先から城山川合流点まで	
	落合川	左岸：丸亀市坂山町東坂元宇山3600番1地先から大東川合流点まで 右岸：丸亀市坂山町東坂元宇山3600番1地先から大東川合流点まで
台目川	左岸：丸亀市綾歌町富熊宇山3664番1地先から大東川合流点まで 右岸：丸亀市綾歌町富熊宇山36301番地先から大東川合流点まで	
	姿谷川	左岸：丸亀市坂山町東坂元宇山3202番1地先から台目川合流点まで 右岸：丸亀市坂山町東坂元宇山3202番1地先から台目川合流点まで

(5) 指定の前提となる降雨 大東川流域の24時間の総雨量726mm

(6) 関係市町 宇多津町、丸亀市、坂出市、綾川町

(7) その他計算条件等

(a) 上記2.(4)に記載する河川の中で、大東川（水位周知河川）を除く県が管理する区間について、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）」（平成27年7月）の作成手法を基本としつつ、「小規模河川の洪水浸水想定区域図作成の手引き」（令和5年7月）、「中小河川洪水浸水想定区域図作成の手引き（第2版）」（平成26年3月）を取り入れ、越水又は溢水した場合の氾濫の予測される範囲、氾濫した場合に予測される浸水深を表示しています。

(b) 氾濫解析では、ポンプ場・樋門等による内水処理の効果は考慮していません。

(c) 氾濫区域を10m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザ測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

(d) 河道の形状は、現地確認や簡易測量等により取得したデータ、令和2年に計測された航空レーザ測量データを使用して作成しており、水面下等一部の地形を適切に評価できない場合があります。

注意文

- 本図は、大東川水系の洪水浸水想定区域図であり、大東川水系以外の河川からの氾濫は反映されていません。
- なお、大東川水系以外の洪水浸水想定区域図については、対象水系又は河川毎に作成した洪水浸水想定区域図をご覧ください。